



Co-Create!

未来をともに創りだそう

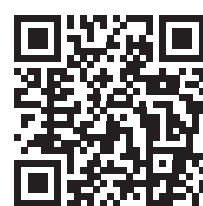
EXHIBITION INFORMATION
5/22 WED 23 THU 24 FRI
パシフィコ横浜 展示ホール・ノース
10:00 - 18:00 (最終日は 9:00 - 16:00)
本状に記載の開催時間・企画等は変更となる場合がございます。最新情報は公式ウェブサイトをご確認ください。

事前登録制 ▶ 
 2024年 4月2日(火)～
ONLINE STAGE 1
5/15 WEB - 6/5 WEB


ご来場までの流れ

ご来場前に、必ず事前登録をお済ませください。

事前来場登録はこちら▼




<https://aee.expo-info.jsae.or.jp/ja/>


1 *one*
公式サイトで
事前に来場登録！



2 *two*
展示内容を
オンライン展示会で
事前にチェック！



3 *three*
入場証を
A4カラー印刷し、
会場に持参。



本展示会は、完全事前登録制(入場無料)です。当日登録の受付はございません。
「QRコード」または「URL」から事前登録を行ってください。

人とくるまのテクノロジー展 2024 YOKOHAMA

展示ホール・ノースで開催！

展示総面積 **約 26,500㎡** 出展社数 **550社以上** 出展小間数 **1,370小間以上**

*展示総面積は、展示ホール・ノースの総面積です。出展小間数および出展社数は2月27日(火)時点での予定数です。

JSAE企画展示

英知を集結しよう！カーボンニュートラル、その先の循環型社会へ

私たちはいま、「The triple planetary crisis」という3つのリスク(気候変動、生物多様性喪失、資源浪費)に直面し、「地球は有限である」ということを再認識する時代に生きています。
 ここ数年、日本をはじめとする多くの国・地域は2050年カーボンニュートラルを目指した取り組みを加速させるとともに、社会構造そのものの変革による持続可能な社会の実現を目指しています。そのカギとなるのは、「共創」と「循環」であると考えています。
 これまでのような「資源の採掘～製造～廃棄」というリニア型から、「3R」「リデュース・リユース・リサイクル」に「リニューアブル」も加えた「4R」に代表される「循環」型社会システムへの変革が必要となっています。「循環」型社会システムの実現には、単に廃棄物をリサイクルすることではなく、私たち一人ひとりが、「つくる責任、つかう責任」の価値基準へと転換していくことも求められます。
 “くるま”のライフサイクル全体を見ながら脱炭素化に向けた取り組みを進めるためには、今まで当たり前だと思っていたことを疑い、新しい視点で物事を捉え、新しい仲間と「共創」してチャレンジすることが欠かせません。
 「人と地球を幸せにする技術とはなにか」を問い、新たなバリューチェーンを仲間と共に築きあげていく。“くるま”に携わる全ての皆さまの英知を集結する「場」として、「人とくるまのテクノロジー展 2024」にお集まり頂ければ幸いです。


「技術の進化」と「新しい価値基準」でサステナブルな循環型社会を実現しよう！

この1年間グローバル、特に欧州においてはELV規制(自動車設計・廃車管理)の強化案やバッテリー規制(バッテリー製品の原材料調達から設計・生産プロセス、再利用、リサイクルに至るライフサイクル全体を規定)が施行されるなど、自動車の資源循環にまつわる機運がますます高まってきています。一方、国内に目を向けると、我が国の自動車リサイクル率は99%と言われていますが、その中には材料を焼却時に排出される熱を再利用するサーマルリサイクルが含まれています。特に、プラスチックについては約60%がサーマルリサイクルであり、この比率を下げて資源を循環させることが求められています。横浜では、プラスチックを中心としたマテリアルリサイクル技術、ケミカルリサイクル技術について展示しています。循環型社会の実現に向けて「サステナブルな資源とはなにか?」についてのきっかけを皆さんと共に考えていく「場」になれば幸いです。

JSAE企画講演


テーマに沿った6講演をお届けします。

5/22 WED 10:30-11:30
GX時代における循環経済(サーキュラーエコノミー)について
 近年、廃棄物問題や気候変動問題に加え、世界的な資源需要と地政学的なリスクの高まりから、サーキュラーエコノミーへの移行が喫緊の課題となっています。従来は廃棄物処理や3Rの観点で進めてきた資源循環を、経済活動として進める意義が高まっており、本講演ではサーキュラーエコノミーの最新動向についてご紹介します。



経済産業省
産業技術環境局 資源循環経済課
課長補佐(総括担当)
吉川 泰弘 氏

5/22 WED 13:00-14:00
グローバルにおける自動車分野を取り巻く資源循環の動向について
 気候変動や資源枯渇、経済安全保障等の課題に対応するため、循環経済の実現が世界各国で求められています。本講演では、自動車産業に焦点を当て、EUのELV規則案などの最新の政策動向を紹介します。また、これらの政策動向が自動車産業に及ぼす影響や、今後の企業の取り組みの方向性について考察します。



みずほリサーチ & テクノロジー株式会社
サステナビリティコンサルティング第2部
コンサルタント
佐野 翔平 氏

5/23 THU 10:30-11:30
ISOから見たカーボンニュートラルリティへの今後の活動
 昨年11月に「ISO14068-1:2023 ネットゼロへの移行-カーボンニュートラルリティ」が発行されました。前年の11月には、国際ワークショップの合意文書である「IWA 42:2022 ネットゼロガイドライン」が発行されています。さらに「ISO14064-1:2018 組織のGHG排出量の算定」に「削減貢献量」を加える補遺の作成が進んでいます。これらの文書を解説しながら自動車産業における今後のカーボンニュートラルの活動について考えます。




一般社団法人日本 LCA 推進機構
理事長
稲葉 敦 氏

5/23 THU 13:00-14:00
カーボンニュートラルを実現する物質循環プロセス
 動静脈を連携したカーボンニュートラルを実現するための技術開発動向を化学プロセスを例にして、サーキュラーエコノミー化の可能性と期待を紹介します。



東北大学
大学院環境科学研究科
シニアダイレクター
教授
吉岡 敏明 氏

5/24 FRI 10:30-11:30
環境負荷ゼロへ向けたリソースサーキュレーションの取り組み
 Hondaは、自由な移動の喜びを提供し続けるために、環境負荷ゼロへの挑戦として、資源の循環利用と経済性を両立するリソースサーキュレーションに取り組んでいます。本講演では、取り組み技術、技術を生かす循環スキーム、エコノミーを生み出す循環バリューチェーンについてご紹介します。



本田技研工業株式会社
コーポレート戦略本部
コーポレート事業開発統括部 リソースサーキュレーション企画部
部長
多賀 渉 氏

5/24 FRI 13:00-14:00
部品メーカーにおける循環型社会実現に向けた取り組み
 これまでの大量生産・消費・廃棄型のリニア経済から、資源・製品の価値の最大化を図り、資源投入量・消費量を抑えつつ、廃棄物発生量の最小化につなげる循環経済への移行が期待されています。本講演では、弊社・自動車部品業界の視点で、モノの循環とデジタル技術活用による更なる好循環の取り組みについて紹介させていただきます。



株式会社デンソー
研究開発センター
シニアダイレクター
清野 正資 氏

新車開発講演

アネックスホール F201+F202 (定員:約300名)

車両開発者がくるまづくりにかけた熱意・思い入れを語ります。

5/22 WED 15:30-16:30
Mazda MX-30 Rotary-EV ~Heritage meets 電動化~
 MX-30は新しい価値の創造に挑戦し人と車の新しい関係を提案したモデルで、マツダの電動化戦略のリードも担っています。マツダ初の量産電気自動車、マイルドハイブリッド車に続き第3弾として導入したロータリーエンジンで発電するプラグインハイブリッドモデルについて、提供価値や特徴、開発ストーリーを紹介します。



マツダ株式会社
電動車生技部
部長
上藤 和佳子 氏



5/23 THU 15:30-16:30
新型アルファード・ヴェルファイア 開発ストーリー
 新型は「快適な移動の幸せ」をコンセプトにプラットフォームから刷新した性能面から装備面まで大きく進化しました。フラッグシップMPVとしての拘りと開発にかけた想いを紹介します。



トヨタ車体株式会社
TYZ ZH
兼 トヨタ自動車株式会社
CV Company CVZ ZH
主査
菅間 隆博 氏



▶ 講演は、展示会場とアーカイブ配信でお届けします。現地聴講をご希望の場合は公式サイトでの事前予約が必要です。アーカイブ配信は5/29(水)～6/5(水)を予定 ※JSAE会員限定配信は6/6(木)～6/14(金)を予定

Table listing 484 exhibitors in 50-character alphabetical order. Includes companies like rFpro Limited, SMTジャパン, 株式会社計算力学研究センター, etc.

Table listing 484 exhibitors in 50-character alphabetical order. Includes companies like 日東精工株式会社, ハルターマンカーレスジャパン合同会社, ボッシュ株式会社, etc.

Event information for '人とくるまのテクノロジー展 2024 YOKOHAMA'. Includes online stage dates (5/15-6/5), search features, and a 3-step process: 1. Search for technology/products, 2. Create a study list from search results, 3. Automatic reflection of the study list to a digital map.

人とくるまのテクノロジー展 2024 YOKOHAMA がさらに充実！ オンライン展示会活用ガイド



Keynote Address information for the 2024 Spring Meeting. Date: 5/23 THU 17:00-18:00. Location: 会議センター 1Fメインホール. Speaker: トヨタ自動車株式会社 取締役・副社長 中嶋 裕樹 氏.